

## テーマ「情報機器の表現・交流ツールとしての活用」

### ～デジタルポートフォリオの作成を通して～

高崎市立城東小学校 細川 徹

#### 1. 提案の概要

総合的な学習では、活動の過程やレポート・作品、発表や話し合いなどにみられる学習の状況などについて、児童の良い点、意欲・態度、進歩の状況などを踏まえて適切に評価できるように、ポートフォリオ評価を導入することが、現在の主流となっている。

そこで、情報活用の実践力を育てるために校内LANや各種情報機器を表現・交流のツールとして活用するとともに、デジタルポートフォリオを作成し、その活用を試みた。

デジタルポートフォリオとは、「学習のために収集した様々な情報や成果物」などの情報を「デジタル化してコンピュータ内に蓄積したもの」である。

ポートフォリオをデジタル化することによって、

- ・活動表現を映像や音声で記録できる。
- ・再編集でき、持ち運びや閲覧が容易。
- ・色褪せず、保管場所も取らない。
- ・成果物を検索でき、簡単に複製できる。
- ・評価と成果物を関連付けられる。

などの利点があると考えられる。

情報機器を表現ツールとしては、社会科の調べ学習のまとめレポートを作成したり、図画工作科で自分の写真にペイントツールを使って「もう一人の自分」を表現したりして活用した。また、交流ツールとして、校内LANを通しての社会科、総合的な学習の調べ学習の成果発表会を行ったり、社会科の調べ学習や図画工作科での鑑賞の学習、国語科での脚本作りなどで掲示板を作り、感想や質問などを互いに記入し合う活動をしたりして活用した。

こうした活動から、児童は、必要な情報を交換したり、互いに意見を出し合ったり様々な工夫を行いながらポートフォリオ作りに取り組めた。

デジタルポートフォリオは、最新データを校内サーバーからコピーしておくことで、いつでも児童の学習の過程や進歩の様子を把握したり、評価したりすることができ大変有効だった。

今後、児童一人に一台のコンピュータが利

用できるように  
なれば、さらに  
児童のよさを生  
かしたポートフ  
ォリオ作りがで  
きるであろう。  
また、PC単位  
で運用している

校内掲示板や校内メールを、個人単位で運用できるように設定すればさらに効果的な使い方ができると思われる。

#### 2. 研究協議の概要

個人用のフォルダを作って、そのフォルダの中を他の児童が見る際に、ファイルの書き換えや消去されるいはずら等が考えられるがその対策はどういったことをしたのか？

- ・みんなで使って、みんなで作るものだからと指導し、ネチケット指導をすることで、いはずらなどはなかった。
- ・最初、ダブルクリックがうまくできず、フォルダを移動させてしまうことが見られたが、フォルダを読み出し専用にして、警告が出るようにした。
- ・セキュリティ設定できるフリーウェアがあって、パスワードの設定をして、児童一人一人にパスワードをつけていった。そうすることで、セキュリティは守られているし、ネチケット指導にもなった。

#### 3. 指導講評

プレゼンテーションと言えばOHPであったのが、コンピュータの普及で大きく変わってきて、マルチメディアが実現された。それを学習指導にどう生かすか。今回は、表現ツール、交流ツールとしての様々な使い方をほぼ提示されたのではないかと思います。総合的な学習の時間で、指導と評価、児童の活動が一体的にできるものはないかということでポートフォリオがでてきた。基本的には紙ばさみでよいと思うが、今回は、これをデジタル化した。ハードディスクに入れて、いつでも使えることができるようにした。また、校内LANを使って、それぞれがメール、意見の交換をして、コンピュータの使われ方の極地のように見えた。

